

●大雪の日 木津川で 2024 年度の将棋頭型竹蛇籠水制の設置完成 2月8日(土)

この週はこの冬一番の寒気が来襲すると報道されていました。そして節分・立春と過ぎて心配していた寒さが押し寄せてきました。7日夜から8日朝に京都南部に積雪があって、一面が銀世界になり交通事故の報道がされました。かねてから竹蛇籠の栗石の投入作業は中止なしで実行を決めていましたが、若者相手の取り組みでしたので随分な気遣いをしました。8時には栗石の個別配分をお願いしていた業者の松美建設さんから作業者の出勤に手間取っており、指定の時間には作業が終わらない見通しも予想されるとの連絡でした。しかし集合の10時にはほとんどの皆さんが集まっていただき竹門先生から「伝統的河川工法」についてのお話がされ意義目的を理解して11時ごろから栗石投入を始めました。松美建設さんによる石の配分もしっかり行っていただいたので短時間で投入作業が完成できました。参加者は34名が若さの馬力で寒さをものともしないで栗石入れを行って見事に出来上がり集合写真を撮りました。午後からは木津川の生き物を竹門先生のご指導を得て採取にチャレンジしました。淀んでいたところには氷が張っていましたがその下に沢山の生き物が活動していました。捕獲した獲物の名前を即座に同定された竹門先生の実力に感嘆の声が上がりました。



●前日の下準備

将棋型水制の設置位置は2月2日(日)の製作講習研修会の夕方、竹門先生と太田さんが位置出しをしていただき、一挙にことが進み始めました。2月7日(金)に将棋型に蛇籠を据え付け流れ止めの杭を29本打ち込んで8日の栗石投入準備が整いました。

●木津川市でのサンショウオ学習会に太田さんが招かれました。

里山の会が2010年12月当地のカスミサンショウオを発見して以後木津川市で鹿背山地区の住宅化工事が開始され竹やぶで生息していたらしいカスミサンショウオが山の下部からの工事開始で山頂に押し上げられたかようになって、山頂にある小さな水の溜まり池(何も生き物がいなかった)で里山の会が柿の芽摘みを行っていた時、ここでカスミサンショウオの幼生を発見しました。そして下部からドンドン藪が開発されてきたので開発会社と交渉したところ以前生息をしていたところへ移住させることになりました。その場所は大変優れた条件を持っていまし

た。きっと多数が生き延びてくれたと予想しています。鹿背山クラブが高齢化となり保全が不可能となってきたので今回の学習会が開催されました。里山の会から太田さんが招かれて里山の会の保全活動を報告されました。

●2024 年度の地域説明会（京田辺市・多々羅区公民館）のプログラムが決定されました

この地域で里山の会が調査観察活動の結果を公表するのは初めてで、普賢寺地域の住人の森島さんの地元・多々羅区公民館で開催できることになりました。スタッフの皆さんは9時にご集合を決めました。会場準備をよろしくお願いいたします。午前中は展示物を中心にお願いいたします。A-2のポスター20枚と中学生が昆虫採取してきた貴重な標本箱を展示させていただきます。きっとご堪能いただける作品が展示されていると思います。午後からはスタッフの皆さんが調査観察された成果を映像で紹介するプログラムが用意されます。どうぞご期待下さい。

13:00 より開始

- ①アライグマについて…森島保さん
- ②イノシシについて …有田勉さん
- ③オオムラサキと昆虫について
…金田徹さん
- ④ヤマトサンショウウオについて
…太田敏之さん
- ⑤植物について …山村武正さん
- ⑥炭焼き体験について…大村幸正さん

上記の予定でプレゼンテーションを進

行致します。ここで小休憩を設け 14:30 からシュタイナー学校の二人の中学生による調査観察の記録発表というプログラムで実行いたします。ご都合をつけていただき、一人でも多くの方々がご参加して下さいようお願いいたします。

●第 27 回 自然と環境講演会にお越しください 3月1日(土) 13:00~

今回の講演会は発足して間もないころ里山の会主催の昆虫観察会に小学3年の寝起き顔の浅野君を自動車に載せて亀岡から京田辺の会場へ運んで参加させて下さいましたお母さんの苦労は大変だったと思います。そこで近畿大学教授であった桜谷保之先生（京都大学卒業）からマンツーマンで教えて頂き、自分の進むべき道を自覚されたのでしょうか。中学・高校で京都大学への進学を目指して頑張り続けて、今その道の学者となり学生を導く立場に到達されています。本人の努力

自然を大切にする仲間の輪を大きくする
(発足以来掲げてきた活動スローガン)

普賢寺は自然の宝の山

普賢寺の皆さんへ

里山の会からの呼びかけです。

多々羅区公民館で地域説明会を開催いたします。ご参加ください。

NPO やましろ里山の会は結成以来 29 年を迎える事が出来ました。里山農園（水取）で野菜栽培や自然観察調査など、普賢寺の皆さんのご協力とご理解をいただいて活動を続けられて来ました。大変感謝しています。

このたび私たちの得られた**成果発表展示会**を開催させていただきますので、公私でご多忙のところでしょうが一足ご足労をいただければと、ご案内をさせて頂きました。

2025 年 2 月 15 日(土)10時から 16時

展 示 物

キンラン キンラン ムヨウラン ササユリ シヤジクモ
ウバユリ ミドリシジミ タマムシ ルリタテハ アサギマダラ
オオムラサキ クワガタムシ カブトムシ ルリタテハ
ヤマトサンショウウオ イノシシ アライグマ

活動紹介ポスター 10 枚

シュタイナー 中学生の観察記録発表

普賢寺での実績

尾根筋ハイキングコース オオムラサキの発見
京田辺の最高峰 千鉢山 311m ヤマトサンショウウオの発見
白土山周遊歩道

木津川でイタセンバラ（特別天然記念物）の復活を取組
木津川で中型牛や竹蛇竜で魚の棲み処づくり 4 軍 16 基の設置
打田で木炭（炭焼き作業）の技術展生の取組
主催 NPO やましろ里山の会
事務所 京田辺市田辺深田 15
0774-64-4183 fddb257@yahoo.co.jp

この取り組みの連絡先
普賢寺多々羅区住持寺 森島保さんへお願いします 0774-62-6780

もさることながら、里山の会での昆虫観察会の果たしてきた小さな成果が大きく育ったきっかけになりました。大変うれしいことです。未来に計り知れない可能性を持っている教育活動への小さなヒントを学びとる場にいただければ有難いです。

この日、中学生二人が里山農園での調査観察活動についての発表を予定しています。

第27回 自然と環境講演会

子どもは自然の中でそだつ

3月1日(土) 13:00~16:30

講師 京都大学准教授 浅野 悟史さん

会場 京田辺中央公民館2階 研修室

京田辺市田辺丸山 214

小学校時代からやましろ里山の会 昆虫観察会に参加

「昆虫博士になる」と決意 そして今、、を話します

子育て中のお父さん お母さん ご参加ください

プログラム

参加費 無料

1部 やましろ里山の会から学んだこと

2部 今研究していること 環境ものさし

3部 子どもの発表会



pixta.jp - 4633179



主催 やましろ里山の会

共催 ぽれぽれらんど

申込は HP から



後援 京田辺市教育委員会

●炭焼き体験 2月22日(土) 13時30分~

原木の窯入れをして、翌日23日(日)の朝8時30分から火入れを行う予定です。

皆様のご協力をお願いします。